

粘土状手練りタイプ水中接着剤(1:1配合タイプ)

サユボンド

A-403R (耐酸)

サユボンドA-403R (耐酸)は、手練りタイプの水中エポキシ樹脂接着剤に耐酸性を付与させて画期的な製品です。水に濡れた面や水中下でも完全に硬化し、優れた接着性能を発揮します。本製品は、耐酸性が必要なコンクリートのクラック補修をはじめとして、ヒューム管や各種パイプなどの接着及び充填など幅広くご使用戴けます。

■用 途

- ☐ 耐酸性が必要な部分の接着
- ☐ コンクリートと各種パイプとの接着。
- ☐ コンクリート同士の接着。
- ☐ コンクリートのクラック補修

■特 徴

- ☐ 耐酸性: 耐酸性に優れています。
日本下水道事業団D種(相当)防食被覆工法の品質規格合格品
- ☐ 作業性: 作業性に優れています。
- ☐ 接着性: コンクリートに対する接着性に優れています。
- ☐ 収縮性: 無溶剤タイプで100%硬化し、ほとんど収縮せず充填接着にすぐれています。
- ☐ 高強度: 硬化後の機械物性に優れています。
- ☐ 耐水性: 硬化後の耐水性に優れています。

■性 状

項 目	サユボンド A-403 R (耐酸)		測定方法
	主 剤	硬化剤	
外 観	白茶色パテ状	黒色パテ状	目視
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン	
配合比(主/硬)	1/1		重量比、容量比
可使時間	50分		1kg/23℃
硬化物比重	1.7		
初期硬化時間	100分		JIS A 硬度計で 硬度が80に達する時間

■物 性

項 目		サンユボンド A-403 R (耐酸)	測定方法
圧縮降伏応力		87.4MPa	JIS K 7208
圧縮弾性応力		1.9×10^3 MPa	JIS K 7208
引張強さ		25.3MPa	JIS K 7113
曲げ強さ		62.3MPa	JIS K 7203
モルタル 曲げ強さ	乾燥	6.0MPa以上 モルタル破壊	JIS A 6024
	湿潤	4.0MPa以上 モルタル破壊	
	水中	2.0MPa以上 モルタル破壊	

※測定条件 23℃ 養生条件 23℃/7日

■日本下水道事業団D種(相当)防食被覆工法の品質規格

項 目		サンユボンド A-403R(耐酸)	規格
被覆の外観		合格	被覆にしわ、むら、はがれ、われのないこと
コンクリート の接着性	標準 状態	2.93MPa 基板破壊	1.47MPa以上
	湿潤 状態	2.27MPa 基板破壊	1.18MPa以上
耐酸性		合格	10%の硫酸水溶液に60日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと
耐アルカリ性		合格	飽和水酸化カルシウム水溶液に60日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと
透水性		0.02g	透水量が0.15g以下

※作業 手作業 使用量 8.5kg/m² 厚み 5.0mm(硬化後の厚さ)

- 使用方法
- ☐ 下地処理: コンクリート、モルタル、タイル等の施工面のレイタンス、ゴミ、油分は除去して下さい。
 - ☐ 配合: 主剤と硬化剤を1/1の重量割合で正確に計量して充分に混合して下さい混合不良ですと硬化不良の原因になります
 - ☐ 可使時間: 配合量は、可使時間内に使い切れる量で配合して下さい。雰囲気温度が高いほど、配合量が多いほど可使時間は短くなります。
 - ☐ 養生: 養生温度は原則として5℃以上で使用して下さい。養生中は振動、水分等の影響を受けないようにして下さい。
- 注意事項
- ☐ 作業場所は充分に換気し、保護具等を着用して下さい。
 - ☐ 作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去して下さい。
 - ☐ 体質によってはかぶれることがありますので、保護具等を着用し、皮膚に付着した場合には直ちに、石鹼水で洗い流して下さい。
 - ☐ 膚障害、呼吸障害が見られるときは、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
 - ☐ 使用後は容器の蓋を締めて冷暗所に保管して下さい。



本カタログの記載事項は弊社の試験設備による特定条件下で得られた測定値の代表例です。
その他取扱いについては製品安全性データシート (MSDS) をご参照下さい。

平成16年9月 現在